

仙台製油所における出荷再開について

このたびの東日本大震災で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社(社長:木村 康)の仙台製油所(所長:山口 亮)は、震災の影響により、現在、生産・出荷ともに停止いたしておりますが、5月初旬を目処に出荷再開の見通しとなりましたので、お知らせいたします。

仙台製油所の西地区に位置する従来の出荷関連設備につきましては、火災の発生もあり復旧には相当の時間を要する見込みです。このため、一刻も早い出荷機能の復旧に向け、暫定的なタンクローリー出荷設備を東地区に設置することを検討してまいりました。

今般、監督官庁の迅速な対応や、施工会社の多大なる協力等をいただきながら、当社の松本油槽所(長野県)および朝霞油槽所(埼玉県)の一部出荷設備を、仙台製油所東地区に移設することによって、5月初旬に出荷を再開できる見通しとなりました。

今回設置する設備の出荷能力は、震災前の仙台製油所からの出荷による販売量の5割程度ではありますが、東北地方唯一の製油所である仙台製油所の被災により、石油製品の供給に最大の影響を受けている仙台地区への供給の安定化に大きく資するものとなります。また、5月中旬までには他製油所からのタンカーでの製品受け入れを再開し、入出荷機能を復旧させる予定です。

なお、仙台製油所における生産再開および西地区の出荷設備復旧については、2012年夏までを目標とした計画を策定中です。

また、生産停止中である鹿島製油所につきましても、6月中に生産を再開できる見通しとなりました。

当社は引き続き、石油製品の供給安定化に向けて、全力を挙げて取り組んでまいりますので、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

【東地区出荷設備の概要】

出荷油種 : ハイオクガソリン、レギュラーガソリン、灯油、軽油

出荷能力 : 9レーン相当



出荷設備の位置



設置中の暫定出荷設備